FOSE2017.docx 使用サンプル(ワード版スタイル)

An example of use for FOSE2017.docx

徳川 家康[[1]](#footnote-1)　源 頼朝[[2]](#footnote-2)

あらまし これはFOSE2017ワード版スタイルの使用サンプルです． 出版が円滑に行えるよう，印刷原稿(カメラレディ)はLaTeXでの作成をお願いします．やむをえず，ワードで作成する場合は、事前に委員長にご相談ください．なお，その場合には、印刷原稿の提出締切が早まる場合があります。ご協力のほど、よろしくお願いします．

Summary. This document has been prepared as a sample for typesetting FOSE2017 papers using the FOSE2017 word document style.

1. ワークショップの目的

情報技術の普及が ソフトウェアの適用範囲をますます広げていく今，ソフトウェアを社会基盤となる知的資産として活用するため，ソフトウェア工学はさらに格段の進歩をとげなければなりません．FOSEはこの挑戦に向けてさまざまな基礎技術を確立することをめざし，研究者・技術者の議論の場を提供するものです．

1. ワークショップ開催概要

FOSE2017[8]は，以下の要領で開催予定です.

**日程:** 2017年11月23日(木) - 25日(土)

**開催場所:** あわら温泉 清風荘

 〒910-4198福井県あわら市温泉3丁目 803

**主催:** 日本ソフトウェア科学会 ソフトウェア工学の基礎研究会

**共催:** IEEE Computer Society Japan Chapter

**協賛:** 情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

 電子情報通信学会 ソフトウェアサイエンス研究会

 電子情報通信学会 知能ソフトウェア工学研究会

1. 書式に関して
	1. ヘッダとフッタ

カバーページを除く奇数ページのヘッダには英語論文タイトルが自動で挿入されます．英語論文タイトルが変更されると自動でヘッダも変更されます．また，タイトルが長い場合は省略可能です．偶数ページのヘッダには「FOSE2017」が来ます．フッタには何も記入しないように設定してください．

* 1. 箇条書き

箇条書き

* 項目1
* 項目2
	+ 項目2-1
	+ 項目2-2

箇条書き（項番付き）

1. 項目1
	1. 項目1-1
	2. 項目1-2
2. 表と図

表の例を表1に示します．

表1　表の例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| FOSE2010 | ソフトウェア工学の基礎 XVII | 高田 眞吾，福田 浩章 編 |
| FOSE2011 | ソフトウェア工学の基礎 XVIII | 門田 暁人，上野 秀剛 編 |
| FOSE2012 | ソフトウェア工学の基礎 XIX | 鵜林 尚靖，亀井 靖高 編 |
| FOSE2013 | ソフトウェア工学の基礎 XX | 岡野 浩三，関沢 俊弦 編 |
| FOSE2014 | ソフトウェア工学の基礎 XXI | 花川 典子，尾花 将輝 編 |
| FOSE2015 | ソフトウェア工学の基礎 XXII | 青木 利晃，豊島 真澄 編 |

図の例を図1に示します．

図1　図の例（FOSE2005のロゴを使わせてもらっております）

1. 参考文献

[1] 高田 眞吾，福田 浩章 編: ソフトウェア工学の基礎XVII, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2010*, 近代科学社, 2010.

[2] 門田 暁人，上野 秀剛 編: ソフトウェア工学の基礎XVIII, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2011*, 近代科学社, 2011.

[3] 鵜林 尚靖，亀井 靖高 編: ソフトウェア工学の基礎XIX, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2012*, 近代科学社, 2012.

[4] 岡野 浩三，関澤 俊弦 編: ソフトウェア工学の基礎XX, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2013*, 近代科学社, 2013.

[5] 花川 典子，尾花 将輝 編: ソフトウェア工学の基礎XXI, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2014*, 近代科学社, 2014.

[6] 青木 利晃，豊島 真澄 編: ソフトウェア工学の基礎XXII, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2015*, 近代科学社, 2015.

[7] 阿萬 裕久，横川 智教 編: ソフトウェア工学の基礎XXIII, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2016*, 近代科学社, 2016.

[8] 吉田 敦，福安 直樹 編: ソフトウェア工学の基礎XXIV, 日本ソフトウェア科学会 *FOSE2017*, 近代科学社, 2017. (to appear)

1. Ieyasu Tokugawa, 江戸幕府 [↑](#footnote-ref-1)
2. Minamotono Yoritomo, 鎌倉幕府 [↑](#footnote-ref-2)